

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	紹介議員氏名	付託委員会名	議決結果
24年第18号	24.12.6	<p>教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める 請願</p> <p>子どもたち一人ひとりに確かな基礎学力をつけ、ゆたかな人間関係を育むためには、ゆとりある学習環境・教育条件を整備することが求められる。とりわけ30人以下の「少人数学級」の実施は緊急の課題であると考えます。</p> <p>この観点から、これまで全都道府県は、様々な形で独自の施策を実施してきた。また、国も2011年度から小学校1年生の35人学級を導入した。本県においても小学3・4年生及び中学1年生において少人数学級が実施されている。多くの県民は、小中学校全学年及び高等学校への拡大を期待している。</p> <p>また、社会に広がる経済的格差が、子どもの生活や学習に大きな影響をあたえ、子どもの将来に大きな影を落としている。さらに、高等学校の統廃合により進路選択が狭められている。経済的格差や地域格差によって、教育を受ける権利が狭められ、子どもの未来を奪うことないように、高等学校の統廃合、夜間定時制高校の廃止については教育的観点を重視して計画を中止して欲しい。</p> <p>すべての子どもが安心して学校生活を送れるよう、ゆきとどいた教育条件の整備のために教育予算の大幅な増額をお願いする。</p> <p>【請願事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小学校、中学校、高等学校の30人以下学級を早期に実現すること。 2 小学校、中学校、高等学校の統廃合については、地域住民の意思、教育的観点を重視し、これ以上実施しないこと。 3 教育費の父母負担軽減・私学助成を増額するなど、教育 	民主教育をすすめる茨城県民会議 神林 昇 55,352名	大内 久美子	文教警察	不採択

		<p>予算を大幅に増やすこと。</p> <p>4 夜間定時制高校をなくさないこと。定時制高校の教育条件を充実すること。</p> <p>5 障害児学校の普通教室不足を直ちに解消すること。</p>				
--	--	--	--	--	--	--